

目 次

第 65 卷 第 1・2号

平成28年 4月 (2016)

原著論文

- 奈良岡弘治: コフキヒメイトトンボの日周活動と繁殖行動, とくに特殊な求愛誇示について……………1
Hirozi NARAOKA: Diurnal Activity and Reproductive Behavior of *Agriocnemis femina oryzae* Lieftink (Odonata, Coenagrionidae), with Special Reference to Courtship Display
- 三上賢司・野崎隆夫・東城幸治: 長野県におけるオンダケトビケラ類 (エグリトビケラ科) の分布……………10
Kenji MIKAMI, Takao NOZAKI and Koji TOJO: The Distribution of *Pseudostenophylax* Caddisflies in Nagano Prefecture, Japan (Trichoptera, Limnephilidae)
- 小池花苗・東城幸治: カマキリモドキ類乾燥標本からの遺伝子解析手法確立: 標本損傷を回避した DNA 抽出法の試行……………16
Kanae KOIKE and Koji TOJO: A Genetic Analysis Method for Dry Specimens of Mantispid Lacewings—Establishment of an Analysis Technique That Minimizes Damage to Specimens

採集記録・観察記録・資料

- 枝 重夫: ムカシトンボの摂食飛翔域の2例……………9
- 枝 重夫: 林 芙美子の“昆虫記”について……………21
- 趙 在翼: 松本市街地・浅間温泉で採集されたムラサキトビケラ……………22
JaeLck Jo: The First Record of the Caddisfly, *Eubasilissa regina* in Asama-Onsen, Matsumoto (Nagano Prefecture)
- 伊藤靖夫・東城幸治: 松本市内の住宅に飛来したゲンゴロウ *Cybister japonicus*……………24
- 小島耕一郎: 雨水を起因に生じたアカマツやカラマツ幹折れ木などを繁殖源とする樹皮下キクイムシによる新しい被害木発生の可能性を考える……………26
- 枝 重夫: 田淵行男が愛した安曇野 一田淵行男作品集— について……………28

特集 昆虫類における隠れた多様性 “Cryptic Diversity”: 分子マーカーを用いた研究から見えてきたこと

- 東城幸治: 特集にあたって……………31
- 東城幸治: 生物多様性における「世界的ホットスポット」のなかのホットスポット—信州の昆虫類における種多様性創出要因の追究—……………33
- 伊藤建夫: 日本の北方系のチョウ類のルーツ, 渡来ルートおよび種分化を DNA 分子系統から探る試み……………53
- 鈴木智也・鈴木信夫・東城幸治: 分子系統解析が明らかにする「短翅型」スカシリアゲモドキ *Panorpodes paradoxus* (シリアゲムシ目, シリアゲモドキ科) の高標高域での並行進化……………62
- 上田昇平: 標高傾度の中に隠されたアリ類の遺伝的多様性……………72

書評

- 吉田利男: 信州人虫を食べる……………29
- 東城幸治: 湿地帯中毒……………30
- 井坂友一: 遺伝子から解き明かす昆虫の不思議な世界 一地球上でもっとも繁栄する生き物の起源から進化の5億年—……………79

案内

- 昆虫 DNA 研究会 第13回研究集会 (松本大会)……………32

学会事務局だより

- 第27回信州昆虫学会年次大会の案内……………80
- 編集事務局から……………80